

鹿島市まちづくり推進構想

(鹿島ニューデール構想)

平成24年(2012) 6月

佐賀県 鹿島市

鹿島市まちづくり推進構想（鹿島ニューデール構想）

〇はじめに

私たちのマチは、間もなく市制施行60周年（平成26年）を迎えようとしている。

この間、多くの先輩達は、ふるさと鹿島の恵まれた自然環境の中で豊かな歴史的資源を背景に、「地域における中核都市」の地位を確立すべく、努力を重ね研鑽を積んでこられた。

しかしながら、現状をみると、その途上にあるというよりも、かえって「近隣の市町に埋没」、さらには「差をつけられている」と感じている市民も少なくないと思われる。

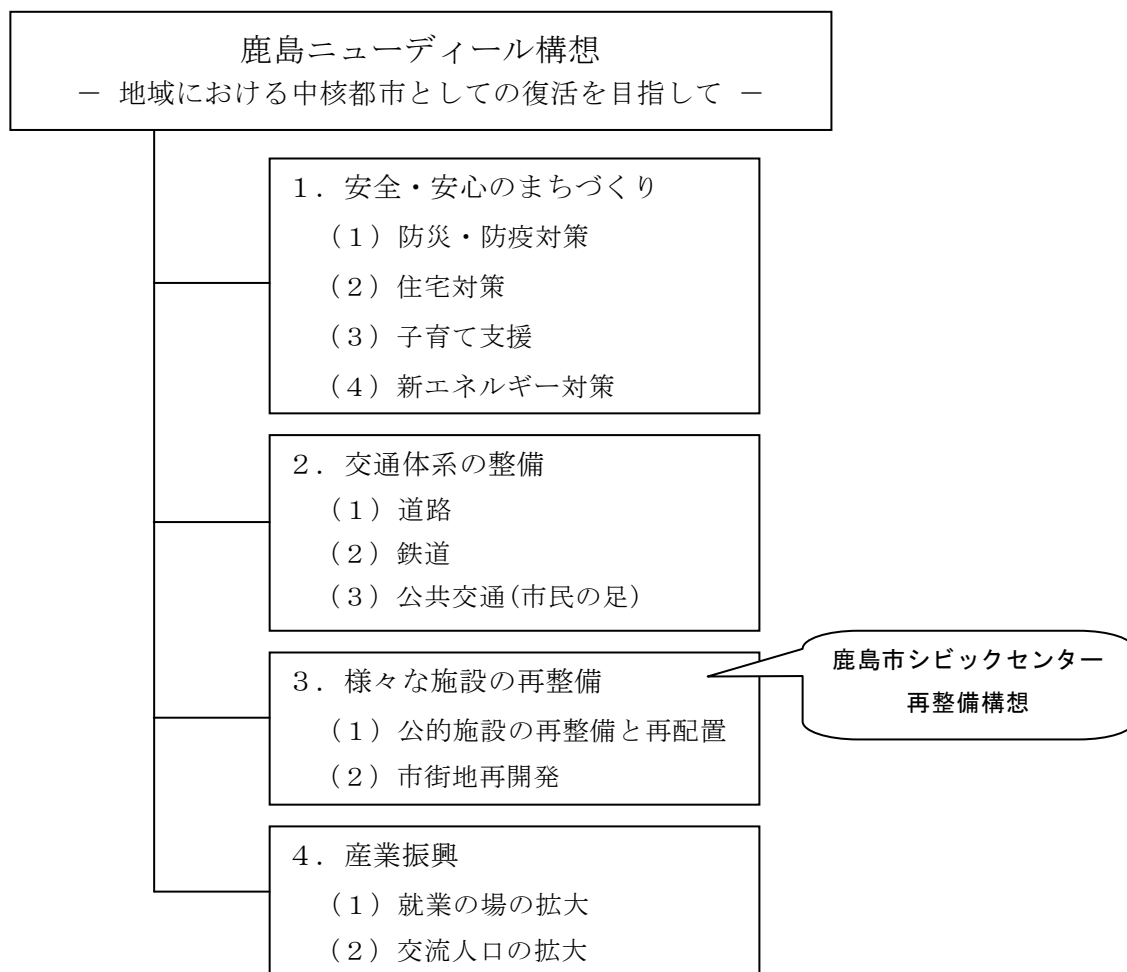
全国的にはもちろん、県内でも、私達のマチでも解決しなければならない多くの課題を抱えているが、そのような時期であればこそ、「進むべき目標」を明らかにして、市の活力を回復するために市民が一丸となって取り組むという姿勢が求められる。

そのような考え方の下に、市民の皆さんにこの構想を提示するものである。

なお、例えば、医療・福祉のように国や県の定めた法令の基準に従って実施されるものや、教育・衛生のように実態を踏まえて安定的に実施されるもの、さらには災害復旧のように予め予想のつかないものなど、義務的色彩の強い対策については、原則として、この構想に含まれていないので、これらは必要に応じ、適時適確に措置されなければならない。

平成24年6月1日 鹿島市長 樋口久俊

〇構想の体系



※次頁から施策の体系を示す

○施策の体系

1. 安全・安心のまちづくり

- (1) 防災、防疫対策（東日本大震災や家畜伝染病発生の教訓を活かす）
 - ①「地域防災計画」の見直しと施策の具体化・・・ 備蓄の充実、高潮対策
 - ②防災、防疫（家畜伝染病等）対策拠点施設の整備・・・ 危機管理センター（仮称）
 - ③情報伝達機能の強化・・・ デジタル無線の導入、ケーブルテレビの活用
- (2) 住宅対策（公的住宅、個人住宅の両面）
 - ①定住促進住宅（政策住宅）整備・・・ 雇用促進住宅の購入・活用
 - ②市営住宅整備・・・ 市営住宅の建設（新整備計画の策定）
 - ③住環境の改善・・・ 住宅リフォーム支援（県下随一の支援制度の活用）
- (3) 子育て支援
 - ①保健福祉の充実・・・ 医療費助成、保育所支援、小児医療、相談体制整備、子育て支援センター（広場型）の新設
 - ②教育環境の充実・・・ 学校施設整備、学力向上、ふるさと教育、心をはぐくむ教育、学習支援員や相談員の配置
 - ③住宅支援の充実・・・ 家賃優遇などの政策住宅整備（雇用促進住宅の活用）
- (4) 新エネルギー対策
 - ①地域資源の活用・・・ 小水力発電、太陽光発電の推進

2. 交通体系の整備

- (1) 道路（人と物の交流、移動ルートの整備）
 - ①有明海沿岸道路の延長・・・ 鹿島市まで、そして諫早市まで
 - ②主要国県道の整備・・・ 国道 207 号、207 号バイパス、444 号、498 号の整備
 - ③多良岳オレンジ海道（多良岳地区広域農道）の活用・・・ 荒廃園対策を含む
- (2) 鉄道（九州新幹線長崎ルートの開業を念頭に）
 - ①JR長崎本線・・・ 利便性の維持向上、駅舎改築、駅前広場・駅周辺の整備
 - ②島原鉄道との連携・・・ 相互乗り入れ、観光ルート開発
 - ③九州新幹線長崎ルートの活用・・・ アクセス道路整備、観光ルート開発
- (3) 公共交通（求められる「市民の足」の確保）
 - ①路線バス・・・ 市内路線、市外都市間路線の維持と利活用
 - ②循環バス、乗合タクシー・・・ 実証運行の実施と今後のあり方の検証
 - ③利便性の高い公共交通の導入・・・ デマンド交通機関の導入検討

3. 様々な施設の再整備（※鹿島市シビックセンター再整備構想 →P 4 参照）

（1）公的施設の再整備と再配置

- ①鹿島市の施設
- ②国・県の施設
- ③公共的な民間施設（医療・介護・福祉施設、専門学校、研究機関など）

（2）市街地再開発

- ①コンパクトシティ・・・住宅、商店、病院、公共施設等を徒歩圏内に集積
- ②医商連携・・・健康、医療、介護、福祉と商業の連携
- ③特色ある商店街・・・発酵の食文化（味噌、醤油、麴、酒など）を活かす
- ④公的施設の中心市街地への再配置・・・空き地、空き店舗活用
- ⑤都市計画、土地利用計画の見直し

4. 産業振興

（1）就業の場の拡大（市民の生活基盤の確保、定住促進）

- ①第一次産業の振興・・・基幹産業として地域を支える農林水産業の振興
- ②地場企業の育成・・・地域の拠点都市として求心力のある商工業の活性化
- ③企業誘致・・・鹿島に根付く企業誘致の推進
- ④農商工連携・・・鹿島の産品（米、みかん、のり等）の高付加価値化

（2）交流人口の拡大

- ①地域資源を活かした観光戦略
 - ・歴史、文化の活用・・・城下町、偉大な先人達、歴史的まちなみ（浜宿）、祐徳稲荷神社、伝承芸能（県内最多を誇る）
 - ・地域資源の発掘と活用・・・発酵の食文化、豊かな自然環境、水資源
- ②イベントの活用
 - ・記念イベント（時限的なもの）・・・伊能来鹿 200 年、碁式成立 1100 年、電飾夜桜（九州初）100 年など
 - ・伝統イベント（継続的なもの）・・・ガタリンピック、鹿島おどり、伝承芸能、祐徳本因坊(囲碁大会)など
- ③スポーツ交流
 - ・スポーツイベント振興・・・祐徳ロードレース、クロカンフェスタなど
 - ・スポーツ合宿誘致・・・駅伝、サッカー、野球など
- ④総会・大会の開催
 - ・県大会、九州大会レベルの各種大会の誘致
 - ・九州沖縄道の駅連絡協議会の開催・・・平成 26 年鹿島市で開催予定
- ⑤宿泊施設の確保
 - ・スポーツ合宿、大会誘致等ニーズに合った宿泊施設の確保
 - ・近隣市町との連携（嬉野市、太良町など）
- ⑥大学などの分室、研究機関の誘致

○優先的に取り組む施策

「鹿島市シビックセンター再整備構想」について

1. 事業概要

鹿島市に立地する主な公的施設(それに準じる施設を含む)の「役割と機能」を見直し、それぞれ個々の施設としての整備を行いながら、全体として連携の取れた施設の再配置(改築、改修等を含む)を行い、これを「鹿島市シビックセンター再整備構想」と総称する。

なお、「鹿島市シビックセンター」は、市庁舎がある「中川コアエリア」を核として、ピオ周辺からJR肥前鹿島駅周辺を「中心市街地サテライトエリア」として構成する。

2. 対象とする公的施設など

特に優先的に対応しなければならない公的施設として当面、下記の施設が見込まれる。

- ①鹿島市庁舎（市役所） ※耐震補強、施設整備のあり方を検討
- ②市民会館 ※耐震補強と施設整備（改築と改修の両面で検討）、エイブルとの連結
- ③生涯学習センター（エイブル） ※市民会館との連結
- ④福祉会館 ※耐震補強と施設整備（本庁舎の補完機能としての施設整備検討）
- ⑤危機管理センター（仮称）
※防災・防疫・災害対策本部機能、消防団本部機能等を集約し危機管理センターとして整備
- ⑥佐賀県鹿島総合庁舎（土木事務所、農林事務所等）
※県の耐震化計画に合わせ、中川コアエリアへの移転を提案
※県とこの地域の市町の連携強化で、防災・防疫等の危機管理機能の充実を図る
- ⑦鹿島警察署
※県の耐震化計画に合わせ、国道207号バイパス沿線への改築移転を促進
- ⑧中心市街地での公的施設再整備（中心市街地サテライトエリア）
※「ピオ」等商業施設の空スペース活用とその周辺の再整備で賑わいの創出
- ⑨JR肥前鹿島駅（駅舎改築、駅前広場・駅周辺の整備）
※鹿島市の表玄関であるJR肥前鹿島駅と駅周辺を魅力ある空間として整備
- ⑩JA施設（JAが進める施設の統廃合など再編への対応）

3. 計画期間

すでに一部、事業を開始したものもあり、事業期間は、平成23年度を初年度（第5次総合計画）として、次期鹿島市総合計画（第6次：期間5年と想定）の終了する平成32年度までの、概ね10年間とする。

4. 事業費

計画期間10年間の事業費総額を、概ね「70億円」と見込む。